

静岡県地域史研究会報

— 静岡県地域史研究会 —

第四十四回総会報告

第四十四回総会及び記念講演は、
去る九月二十二日（日、祝日）午後二時より静岡市葵区のあざれあを会場に開催された。次第は次の通り。

一 総会

- （一）議長選出
- （二）会務報告
- （三）研究誌報告
- （四）会計報告
- （五）会計監査報告
- （六）新年度役員選出
- （七）新年度の活動方針
- （八）新年度の予算審議
- （九）その他

二 記念講演

「駿府政権と外様大名」

講師 三重大学名誉教授 藤田達生氏

総会は、森田香司氏の司会により始まつた。小和田折男会長の挨拶の後、議長に前田利久氏を選出し、右記の次第にしたがつて進められた。議事詳細については後掲の通りである。午後三時から記念講演が行われ、午後五時に散会した。記念講演の要旨は、来年九月刊行する研究誌第十五号に収載する予定である。

二〇二三度会務報告・研究誌報告・会計報告・会計監査報告

一年間の例会十回で計一二三名（平均十二・三名参加）→昨年度より七名増

・例会参加者は、一けたの例会は四回あつた（十月・一月・二月・三月）。

・書評会ができた。（二月）

・卒業論文発表会はできなかつた。（三月）

・県外報告者を依頼できなかつた。

・幹事の報告が少ない（五名が報告）。

・会場はなんとか確保できたが、教育会館もなかなか予約が取れない。

・報告者、報告内容によつて参加人数に差が出る。

・報告内容は、中世五、近世五でバラ

ンスがとれていた。

・会報の発行・予算等は二・四頁に掲載した。

会報の発行二五一号～二五六号、計六号発行した。

◆十一月例会 十一月十五日
静岡県産業経済会館第3会議室
（四名参加）

史料紹介浜松荘入野郷八柱神社棟札
森田香司氏
第一五五号 飯尾「元連」と飯尾連
龍 小林輝久彦

◆十月例会 十月十八日
静岡県教育会館地階D会議室
（四名参加）



小和田会長挨拶

歴史随想
第二五二号 足利尊氏の駿河国得倉
郷寄進状 廣田浩治
第二五三号 ベンチヤア国」の使者

◆十二月例会 十二月一日
静岡市歴史博物館講座室（一七名参加）
近世における駿府城の実像
増田亞矢乃氏

◆一月例会 一月二十七日

静岡労政会館五階第二会議室
(八名参加)

第二五四号 蒙忠日記の御家門
様」とは誰か
小川 雄
本多隆成

駿府・清水の米蔵

柴 雅房氏

◆二月例会 二月十七日

三島市楽寿園内郷土資料館講座室

(八名参加)

『近世後期宿駅運営と幕府代官 東海道

三島宿改革仕法を中心に』 (岩田書

院、二〇一三年十月) の書評会

書評者 平林研治氏・三宅真人氏・南

隆哲氏

◆三月例会 三月二日

静岡県教育会館(八名参加)

近世天領の廻米制度について、廻船
差配人の動向を中心く 柴雅房氏

について

◆四月例会 四月二十七日

静岡県教育会館(十二名参加)

近世三島宿の空間構成とその特徴に
ついて

◆五月例会 五月二十五日

静岡市歴史博物館講座室(二〇名参加)

駿河の戦国地域社会からみた今川氏
廣田浩治氏

◆六月例会 六月十五日

アクトシティ研修交流センター(四〇三
会議室)(九名参加)

室町幕府奉公衆浜名氏の基礎的研究
小林輝久彦氏

◆七月例会 七月二十二日

静岡県教育会館(十三名参加)
本多正信の台頭 本多隆成氏

◆一〇一四年度役員
森田事務局長から新年度役員について
次のように提案があり、全会一致で
承認された。

顧問 本多隆成(静岡大学名誉教授)

会長 小和田哲男(静岡大学名誉教授)
事務局長(会誌査読) 森田香司(広沢小)
(清水桜が丘高)
(駒澤大学)

幹事(会計担当) 前田利久
(豊橋市立図書館)

幹事(会誌担当) 厚地淳司
(清水桜が丘高)

幹事 小川隆司(島田高)
(浜松市文化財保護審議委員)

幹事 柴雅房(県立中央図書館)
(西田かほる(静岡芸術大学))

幹事 岡村龍勇(豊橋市立図書館)
(小林輝久彦(浜松西税務署))

幹事 望月保宏(放送大学静岡学
習センター)

幹事 鈴木将典
(静岡市歴史博物館)

幹事 貴田潔(静岡大)
(今村直樹(熊本大学))

幹事 三宅真人(島田市役所)
(青木茂久(焼津市歴史民俗資料館))

幹事 会計監査 小川勝
(古文書講座講師)

幹事 会計監査 青木茂久
(静岡古城研究会)

幹事 会計監査 小川勝
(古文書講座講師)

員にメール登録を依頼していく。
年間十回の例会をきちんと行つていく。

二月は東部例会で例年楽寿園内三島市郷土
資料館をお借りしている。

年一回は、静岡市歴史博物館との共同開
催とし、講座室を無償で借用させていただ
く。

二月は学生の卒業論文発表会の予定。例
会をきちんとやつしていくだけでなく、例会
報告の内容を充実させていく。また、他地
域にも報告者を要請し、多角的な視点や最
新の研究成果の研究報告を進める。

そして、最新の研究成果や他地域の
研究者に積極的に声掛けして報告を
依頼する。

会誌第十五号の発行

昨年同様、会誌担当厚地氏を中心編
集していく。査読の統一を図るため、査
読検討会を四月か五月の例会前に行う。

(会報の発行)

年間六回の会報を発行するだけでなく、
会報の内容を充実させる。なお、例会が
一報告になつたことにより、報告要
旨が少ないと紙面が埋まらないの
で、報告者は今までより多く、十五
字×六〇行×九〇行で書いていた
だきたい。

報告には今までより多く、十五
字×六〇行×九〇行で書いていた
だきたい。

※メール登録のお願い

昨年度は九九名の会費納入者であ
った。

ください。よろしくお願ひします。

くください。よろしくお願ひします。



講演される藤田達生氏

来年の総会には記念講演を依頼
し、その分野は近世史とする。
(他の研究会との交流)

今まででは、静岡県近代史研究会の
みとの交流であったが、昨年度より
も行っている。必要な情報等は会報
に掲載していく。

なお、十月二十日現在で、会員の登
録者は七五名です。未登録の方は右
記森田のメールアドレスまでメール

（ホームページの開設）
鈴木将典氏（当日は所用のため、記

念講演時から参加したため、森田が代読した)から紙面で提案があり、了承された。内容としては、一年間かけて準備していく。開設した際には、会員への例会案内、例会報告、活動内容等はホームページ上でも見ていただくことになる。切り替わる際には会員に周知することとする。特にメールアドレス登録のない会員には、個別に対応していく。

〔受贈図書一覧〕

昨年度は受贈図書が多かったので、この場を借りて紹介し、お礼に代えさせていただく。

朝比奈新氏『莊園制的領域支配と中世村落』(博士論文、吉川弘文館)
『東海の中世史』1~5(吉川弘文館)
『諸国往反の社会史』(高志書院)
『領主層の共生と競合』(高志書院)

【例会案内】
★十一月例会
十一月二十三日(土、祝日)
午後二時~

あざれあ 男女共同参画センター五階第1会議室
「『諸国往反の社会史―東海道中世史研究1―』(高志書院、六六〇円)の書評会
本書の紹介 貴田潔氏
書評者 森田香司氏
※十月中旬に発売されたもので、会員の皆様方にはまだ手に入りにくいものと思います。したがいまして、この書評会の趣旨は、本書が、二〇一九年に富士市・静岡市で開かれた中世史サマーセミナーの成果論集で

あり、駿河・遠江・伊豆三国に触れている部分が多いことから、書評会を行い、その論点を会誌に掲載することで、会員に広く周知することです。紙面に余裕がありますので、左記に目次を掲げます。

第1部 行き交う人と物
牧のネットワークと交通体系
供膳具が語る西と東―伊勢・尾張・三河―遠江―

供膳具が語る東と西―伊豆・駿河・豆・駿東地域
初期鎌倉幕府の文化源流としての伊豆・駿東地域

駿河湾から広がる塩の流通
中世後期の東海産陶器 生産と流通
第2部 宿・関・湊
東海道の宿と遊女
都鄙間ににおける陸関の展開と在地領主支配

道・宿・関・湊の実像をどう探るのか
中世寺院の展開と東海道周辺の支配
以上、掲げたように、二部構成で十本の論文集となります。

森田香司

② 会費納入のお願い
会報に振り替え用紙を同封しましたので、まだ会費を納入されていない会員は納入をお願いします。

③ なお、本年度の例会日及び例会会場を四頁に掲載しましたので、会員の皆様にはくわぐれも間違われないよう、また、多数御参加いただけるようお願いします。

③ なお、本年度の例会日及び例会会場を四頁に掲載しましたので、会員の皆様にはくわぐれも間違われないよう、また、多数御参加いただけるようお願いします。

(〇九〇一七〇三一〇七三三)

幸い、報告希望の方が多く、三月までは報告者は決まっています。三月は卒業論文発表会のため、静岡大や静岡文芸大にお願いしていきます。一人は学習院大学の大学院生に依頼しております。幹事ならびに報告希望者は小和田会長もしくは事務局森田まで御連絡ください。

〔事務局連絡先〕

2023年度静岡県地域史研究会決算書支出の部

No.	科 目	予算額	決算額	対予算比	内 訳
1	会場費	37,230	28,670	-8,560	教育会館 11月・3月 4,100×2、4月・7月 3700×2/10月 産業経済会館 4,850/1月 労政会館 3,980/2月 三島 0/6月 アクシティ浜松 4,240/12月・5月 静岡市歴史博物館 0
2	例会案内費	50,000	31,749	-18,251	会報郵送・葉書・切手等
3	会報印刷費	25,000	7,555	-17,445	インク・コピー代等
4	交通費補助	50,000	0	-50,000	
5	事務費	15,000	10,581	-4,419	コピー・封筒・通信費等
6	総会費	115,000	84,086	-30,954	会場費、総会資料コピー、講師謝礼、テープ起こし等
7	会誌編集刊行費	200,000	151,185	-48,815	13号会誌(別冊歴史隨想を含む)印刷・郵送・校正等
8	予備費	715,770	0	-715,770	
	合計	1,208,000	313,786	-894,214	

2023年度決算書収入の部

No.	科目	予算額	決算額	対予算比	内訳
1	繰越金	765,643	765,643	0	前年度繰越金
2	会費	432,000	396,000	-36,000	総会30名、例会2名、振込59名、過年度分9名分、合計99名
3	書籍売上	10,000	1,000	-9.000	会誌13号1冊
4	雑収入	357	0	-357	
5	合計	1,208,000	1,162,643	-45,357	

2024年度予算案収入の部

No.	科目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内訳
1	繰越金	848,857	765,643	83,214	
2	年会費	324,000	432,000	-108,000	3,000×108名(一人3000円へ引下げ)
3	書籍売上	10,000	10,000	0	1,000×10
4	雑収入	143	357	-214	
	合計	1,183,000	1,208,000	-25,000	

2024年度予算案支出の部

今現在の予約状況(すべて土曜日です)

10月26日 静岡市歴史博物館講座室予約済
11月23日 あざれあ第1会議室予約済
12月 7日 静岡県教育会館地階D会議室予約済
1月25日 静岡市歴史博物館講座室予約済
2月22日 沼津市立図書館4階第3講座室予約済
3月 1日 静岡県教育会館地階D会議室予約済
4月26日 静岡県教育会館地階D会議室予約済
5月24日 静岡県教育会館地階D会議室予約済
6月21日 アクトシティ研修センター予約予定
7月26日 静岡県教育会館地階D会議室予約済

No.	科目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内訳
1	会場費	30,000	37,230	-7,230	教育会館5回／アクトシティ浜松研修センター／あざれあを予定。10・1・2月は無償
2	例会案内・郵送費	50,000	50,000	0	会報郵送代・葉書・切手等
3	会報印刷費	25,000	25,000	0	インク、コピー代等
4	交通費補助	50,000	50,000	0	2・3月例会(東京等遠方より)
5	会誌編集刊行費	200,000	200,000	0	14号会誌 印刷・郵送・校正等
6	事務費	15,000	15,000	0	コピー・封筒・通信費等
7	総会費	115,000	115,000	0	会場費、総会資料コピー、講師謝礼等
8	予備費	698,000	715,770	-17,770	2023年総会記念講演(文字起こし等)、他
	合計	1,183,000	1,208,000	-25,000	

静岡県地域史研究会報
第257号

2024年11月5日発行

静岡県地域史研究会

会長 小和田哲男

事務局長 森田香司(053)449-5711

会計担当 北村 啓(090)4230-6530

[会費納入先]

北村啓気付TE L090-4230-6530

郵便振替口座 00880-3-63062

年会費 3000円

繰越金
(会計監査報告)

848,857円

2024年9月14日 監査の結果、上記の通り相違ない
ことを認めます。会計監査 小川 勝 青木茂久

